

全ての「会長のひとりごと」がWEBで読める!
くぼかわよしみち.com毎月20日更新!!

くぼかわよしみち.com

検索

Vol.167

2020 12月



ゴールドエイジの役割り

アサヒグローバル株式会社 代表取締役会長
ゴールドトラスト株式会社 取締役会長
ゴールドエイジ株式会社 取締役会長

文/久保川 議道

text:Yoshimichi Kubokawa



- asahiglobal.co.jp
- super-chintai.com
- goldtrust.co.jp
- otona-souzoku.com
- goldage.co.jp
- kubokawayoshimichi.com

住まいを通じて高齢者の安全安心と楽しい生活を提供するのが、ゴールドエイジの社会的役割りです。そのために必要なものが介護や看護などと、美味しい食事やお風呂や散歩や楽しいイベントの開催などがあります。ヘルパーさんをはじめ一人一人の社員さんが365日・24時間、休みなく働き続けることによってこの社会的役割りを実現しているのがゴールドエイジなのです。

そして10月1日から全ての館で「家族との『自由面会』」を開始しました。コロナ禍の第3波の中で病院の入院でも介護施設でも、家族の面会は中止されています。「家族や奥様が手術や癌の末期であっても、主人は病院に面会に行けないんですね。いくら感染予防だとしてもコロナ禍には辛くて悲しい現実があるのです。ゴールドエイジでも面会は中止でしたが、入居者と家族のお気持ちを考えると、十分な感染予防と対策をすることによって自由面会にすべきだと決定いたしました(但し、11月21日からは第3波のため入口の玄関スペースで自由面会を実施しています)。

まずコロナとは何でしょう。それは病原菌ではなく遺伝子です。細胞にくつぐことによって活動を始めて発病します。そして口から出る飛沫で体の外に出

て人に感染します。大きさは約1万分の1mm(0.1μm)(タバコの薄い煙と同じ大きさ)。布マスクのすきまは1,000万分の5%ですから、この50倍のすきまをコロナは簡単に通り抜けて感染しますから医療用マスクしか止められません。ですからゴールドエイジではマスクの両面に抗菌・抗ウイルス剤を塗布します。そうするとコロナを殺し続けます(不活性化させる)ので飛沫感染を止めることができます(商品名:アミラエリヤne)。

コロナを正しく理解していただきたいのですが、テレビで見る飛沫の映像は3mも5mも飛んでいますが、コロナ自体は30cmか40cm飛びと乾燥して死んでいますから感染しません。大声でマスク無しでしゃべりますと、1.5mくらい飛ばないと死滅しません。だからソーシャルディスタンスの距離が欧米だと1.8m、日本だと2mと決められているのです。

さてコロナは口から出てから30cmから15mくらい飛んで空中にいるのでマスクだけですとアミラエリアを両面に塗布する(安全ですが)コロナは防げません。ですからゴールドエイジでは空間除菌装置を各館に設置しました。これは欧米でも日本でも厚労省でも食品添加物として認められている『亜塩素酸水』の自動噴霧

機です。1回の噴霧で1万分の5mmの微粒子が60分以上も空中で浮遊し続けていますので、コロナもノロウイルスもインフルエンザウイルスも全て予防してしまいます。各館に2~3台ずつ設置しましたから、安心ください。

コロナは職場でも学校でも感染します。ですから主人や奥様やお子様もいつコロナに感染しても不思議ではありませんから、早期発見が一番大切です。しかしこれが一番難しいことです。今のところ検温するしか方法はありません。必ず毎日検温してください。

あと外気の中を歩いていても感染はありませんからマスクは不要です。これを私が言うと嫌な顔をされます。私はそう思います。しかし「ゾーニング」という考え方方が必要です。ゴールドエイジであれば外部から出入りするところは、エントランスとヘルバーステーション、家庭ですと玄関がゾーニングで一番大切な「エントランス」と「玄関」は感染者の陽性エリア。そこでの水際対策(マスク・除菌)を十分に行ってください。あくまでコロナを軽視しないことです。

という事でゴールドエイジでの「自由面会」が10月1日から始まりましたが、対策は十分行っていますのでルールを守って自由に楽しく乗館ください。

わくわく

夢ニュース【高齢者住宅】



心
ゴールドエイジ小生(こも)

定期巡回という様々な要望に対応できる介護サービス。
入居される方の生活に合わせた、訪問介護・看護や巡回サービスを提供しています。



2020

12月
No.167



ゴールドエイジ小生

ナビ住所:三重県四日市市小生町608番地6